

維持管理・環境管理専門委員会の活動

【目次】

活動報告概要	P2
1. 2021年度の維持管理活動の概要と2022年度の活動計画（案）	P4
2. 2021年度の保安全管理活動の概要と2022年度の活動計画（案）	P15

【ご注意】

本資料は、外部組織との協議中の内容は非表示としています。
ご了承下さい。

活動報告概要

- 第51回協議会(2021年2月17日)以降、維持管理・環境管理専門委員会を4回、維持管理作業を9回実施しました。
- 維持管理、保安全管理、マーケットリサーチ、エコロジカル・ネットワークの取り組み等について協議を行いました。

	区分	日時	場所
会議	第42回※1	2021年 3月18日	WEB会議
	第43回※1	2021年 6月 4日	
	第44回	2021年10月26日	
	第45回※1	2021年12月15日	

※1 イベント実行委員会と合同開催



第43回 (2021年6月4日)

活動報告概要

主な報告・提案・発議事項

区分	内容	参照ページ
報告	<ul style="list-style-type: none">・維持管理活動は、前回協議会で承認された計画を基本とし、現地状況や外部連携の予定にあわせて実施しました。	P5-P10
	<ul style="list-style-type: none">・保全管理活動は、東京デザイン専門学校、川島町立つばさ北小学校、埼玉県立桶川西高等学校、大和ハウス工業株式会社、本田航空（株）等と連携した活動を行いました。・また、アリオ上尾との連携した活動についても予定しています。・マーケットリサーチでは、5団体と協議を実施しました。エコプロ2021に参加し1つの企業と3つの学校関係（大学）の方とパンフレットおよび協議会のチラシを配付して、協議会の活動や課題、相手方の活動内容などについて意見交換を行いました。	P17-P33
提案	<ul style="list-style-type: none">・今年度に準じて2022年度の維持管理活動計画を提案します。	P14
	<ul style="list-style-type: none">・今年度に準じて2022年度の保全管理活動計画を提案します。	P41

1. 2021年度の維持管理活動の概要と2022年度の活動計画（案）

1. 2021年度の維持管理活動計画

<2021年度の維持管理計画と対象箇所>

□：実施済み

地区・管理対象			維持管理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
上池	旧流路整備地	①呑み口	ゴミ除去・周辺の除草：5月、9月の2回（出水期前と台風シーズン前）		19日 (水)				15日 (水)							協議会実施	
		②導水路	通路付近の除草：適宜														必要に応じて協議会実施
		③整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5・6月の開花時期に2回		19日 (水)	16日 (水)				本田航空実施							協議会実施
	モトクロス場跡地整備地	④通路	管理用通路の除草：適宜	本田航空実施			6日 (日)			25日 (土)							本田航空が適宜実施
		⑤-1 整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5・6月の開花時期に2回		19日 (水)	16日 (水)											協議会実施
	⑤-2 整備地	植生管理（オオバクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、シンジュ、ハリエンジュ、クワ在来つる性植物（カナムグラ・クズ）の除去等）：9月・11月 オギの除去・土壌攪乱（目標種再生）：12月	モトA・モトD全般等 オギ除去・土壌攪乱	14日 (水)						本田航空実施	10日 (水)	12日 (日)				協議会実施	
中池	河畔林	⑥保全エリア・通路	植生管理（オオバクサ、シンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ・ツタ類）の伐採）：4月・5月・6月・9月・10月・11月	14日 (水)	19日 (水)	16日 (水)	13日 (火) 18日 (日)		15日 (水)	4日 (月) 21日 (木)	10日 (水) 11日 (木)					協議会実施 本田航空が適宜実施	
	サクラソウ群落再生地	⑨ 再生地 3D	植生管理（移植候補地の外来植物除草・ヨシ・タケの伐採等）：4月～10月に毎月 冬刈り：11～1月に毎月	14日 (水)	19日 (水)	16日 (水)	14日 (水)	4日 (水)	15日 (水)	21日 (木)	10日 (水) 11日 (木)	12日 (日)	12日 (水)	4日 (金)		協議会実施	
下池	ハンノキ移植地	⑦実施計画範囲	移植したハンノキ周辺のつる性草本、アレチウリ・クズの除去：6月2回（イベントと会場準備）・9月			16日 (水)			15日 (水)				12日 (日)	12日 (水)		協議会実施 6月19日はミドリシジミ観察イベント	
	サクラソウ群落再生候補地	⑩-1再生候補地 7A・7B	植生管理（移植候補地の外来植物、つる性草本等の除草）：－ 植生管理（移植候補地の冬刈り）：－													当面保留	
		⑩-2再生候補地 5A・5B	植生管理（移植候補地の冬刈り）：－														当面保留
全体	⑧看板	看板周辺の除草：イベント前に適宜対象箇所を実施		←----->												協議会実施	
	維持管理検討のための巡視	巡視ルートを巡視し、維持管理活動の内容を検討する											19日 (水)			協議会実施	

緑文字はサクラソウ群落再生候補地番号

1. 2021年度の維持管理活動計画



空中写真は荒川上流河川事務所撮影
(2018年12月27日撮影)

※①～⑩：前頁の表と対応

2. 2021年度の維持管理活動報告

●対象：上池呑口、旧流路整備地、モトクロス場跡地整備地A・D

1) 上池呑口

堆積土砂の除去、アレチウリ除草を実施しました。
(2021年5月19日、9月15日実施)

作業前後



作業状況



2) 旧流路整備地

オオカワヂシャの除去を実施しました。
(2021年5月19日、6月16日実施)

作業状況



3) モトクロス場跡地整備地A・D

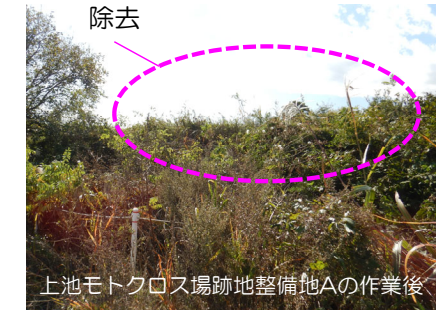
オギ、アレチウリ、オオブタクサ、ハリエンジュ、オオカワヂシャの除草・伐採を実施しました。

(2021年4月14日、5月19日、6月16日、11月10日、12月12日実施)

作業前後



ハリエンジュ



2. 2021年度の維持管理活動報告

●対象：中池河畔林保全エリア・通路およびサクラソウ群落再生候補地

1) 中池河畔林保全エリア・通路

オオブタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、タケ類の除草・伐採を実施しました。

(2021年4月14日、5月19日、6月16日、9月15日、10月21日、11月10日実施)

作業前後



作業前後



作業状況



2. 2021年度の維持管理活動報告

●対象：中池河畔林保全エリア・通路およびサクラソウ群落再生候補地

2) サクラソウ群落再生候補地

ヨシを対象に除草を実施しました。

(2021年4月14日、5月19日、6月16日、8月4日、9月15日、10月21日、11月10日、12月12日、2022年1月8日実施)

作業前後



作業状況



2. 2021年度の維持管理活動報告

●対象： 下池整備地

- ・ハンノキ幼木周辺の除草と移植したハンノキに覆い被さっているアレチウリやクズ、およびセイタカアワダチソウとシンジュの除草を実施しました。（2021年6月16日、9月15日、12月12日、2022年1月12日実施）
- ・2022年1月12日にハンノキ幼木の移植を行いました。

作業前後



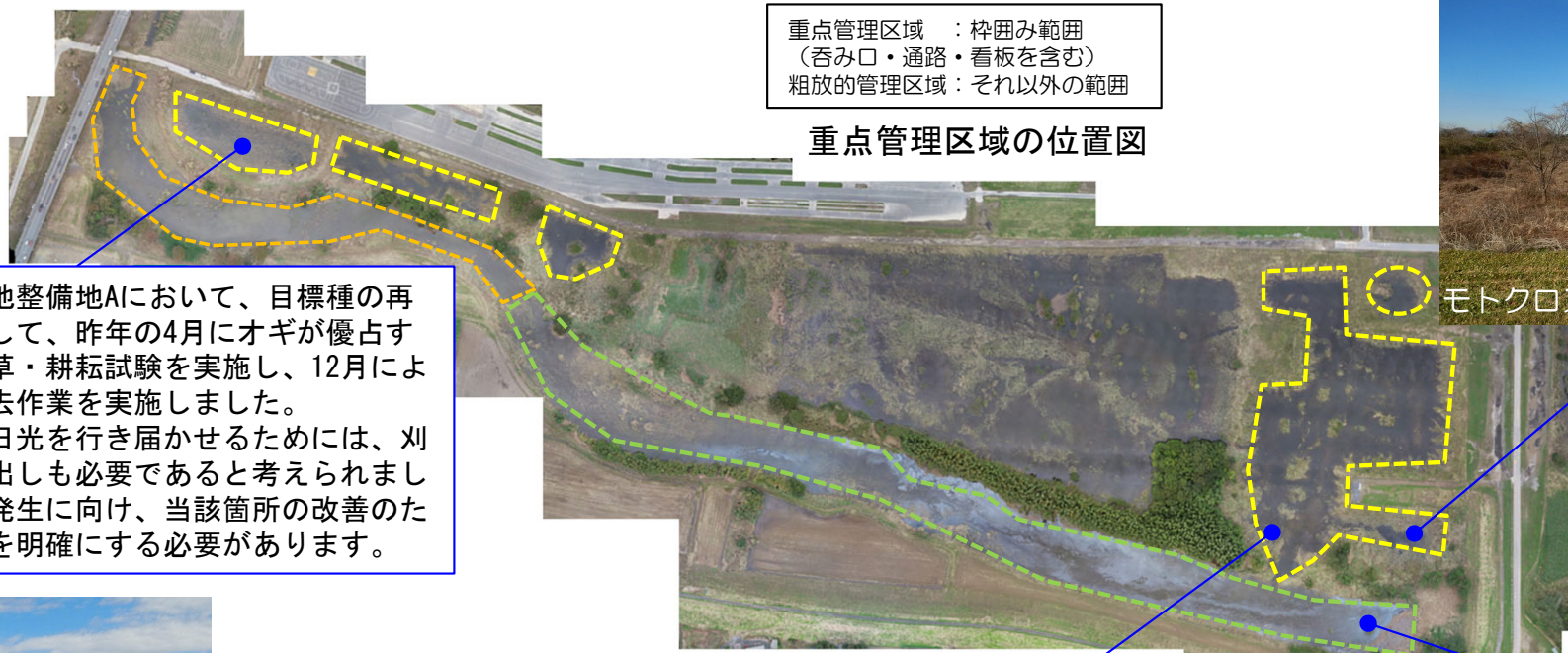
作業状況



3. 巡視結果 1) 上池

●令和4年1月19日（水）に自然再生地の巡視を行いました。上池・中池・下池ごとに巡視結果の概要を整理しました。

- ・巡視では、作成した2022年度の維持管理活動計画（案）の妥当性確認も目的としています。今回の巡視の結果、第45回維持管理・環境管理専門委員会で議論した2022年度の維持管理活動計画（案）は妥当と考えられましたので、これを協議会に提案します。
- ・上池のモトクロス場跡整備地Aにおいて、湿性の重要種を再発生させるための、維持管理作業を検討することが必要と考えられました。
- ・中池では、つばさ北小学校や大和ハウス工業（株）等との取り組みを発展、継続させるためのビジョンの検討が必要と考えられました。
- ・サクラソウ群落再生地では、竹林の管理や伐採した竹林の処分について、今後検討が必要と考えられました。
- ・下池では、ハンノキの保全・再生のために、これまで得られている知見を活かしつつ、今後の目標を定め、作業内容の整理、作業体制の確保に向けた検討が必要と考えられました。



重点管理区域：枠囲み範囲
(呑み口・通路・看板を含む)
粗放的管理区域：それ以外の範囲

重点管理区域の位置図

上池モトクロス場跡地整備地Aにおいて、目標種の再発生に向けた試験として、昨年の4月にオギが優占する群落において、除草・耕耘試験を実施し、12月により広範囲にオギの除去作業を実施しました。巡視の結果、地表へ日光を行き届かせるためには、刈り取ったオギの運び出しも必要であると考えられました。また目標種の再発生に向け、当該箇所の改善のため作業スケジュールを明確にする必要があります。



モトクロス場跡地整備地Dの状況



モトクロス場跡地整備地Aの状況



モトクロス場跡地整備地Dの状況

上池モトクロス場跡地整備地Dのシンジュ伐採跡地において、シンジュの再発生が確認されました。今後の対処に注意が必要です。



旧流路保全地区の状況

3. 巡視結果 2) 中池

通路沿いの竹林の扱いについては、通行の妨げにならないように、通路に沿って必要な分の伐採作業を行う案が考えられました。

水辺にアプローチできそうな場所は手を加えて、水辺に近づけるような場にする案が考えられました。

外部の協力者（企業等）が関わってくださった場所については、その成果をアピールできるようにする案が考えられました。

釣台が去年よりさらに上流に広がっていることを確認しました。水鳥への影響が懸念されます。

中池（荒川旧流路）→

中池（入口）

つばさ北小学校やその他連携先、個人などに育苗してもらった荒川の草花を移植して見せるエリアにする案が考えられました。

道沿いの竹林は比高が低くなっている辺り（通路）にかからない程度まで伐採する案が考えられました。

このエリアでは過去にサバイバルゲームを楽しんでいる人がいたという報告があります。樹木の伐採跡などがあつたため、誰かが管理している可能性が考えられました。逆に手入れをすることで人が入りにくくなる可能性が考えられました。

竹林の処理物を使って、何かの有効活用できるようにする案が考えられました。

サクラソウ群落再生地にかからない程度まで伐採する案が考えられました。伐採の際は、モズの繁殖に注意が必要です。

竹林の侵入が確認されているので適宜伐採する方針が考えられました。

重点管理区域の位置図

重点管理区域：枠囲み範囲
（通路・看板を含む）
粗放的な管理区域：それ以外の範囲

3. 巡視結果 3) 下池

協議会の維持管理作業では、ハンノキ移植木周辺の除草が中心であり、移植木前のエリアは作業をあまり実施できていないため、外部の協力者（企業等）に引き続き連携・協働いただける場合、当該箇所を除草作業の場として活用いただく案が考えられました。



ハンノキ林の育成については、これまでに得られた経過・知見を今後を活用できるように整理する必要があることが考えられました。

重点管理区域：枠囲み範囲
(通路・看板を含む)
粗放的な管理区域：それ以外の範囲

重点管理区域の位置図

下池整備地について、これまでのハンノキ育成試験地等で得られた知見を活かし、ハンノキの生育に適した環境づくりのため、整備地内に中島を造成する案が考えられました。



ハンノキ幼木の移植場所を確認しました。



4. 2022年度の維持管理活動計画（案）

●2022年度は以下の維持管理活動を実施する予定です。

- 上池
 - ・上池旧流路整備地およびモトクロス場跡地整備地Aのオオカワヂシャは5月作業時に繁茂が拡大していることが確認された場合、実施します。
 - ・上池モトクロス場跡地Aの法面において、今年度の12月オギ除去・土壌攪乱作業については、目標種の再発生效果を検証し必要に応じて実施します。
- 中池
 - ・中池広場においては、本田航空の協力をいただき外来植物の抑制を行います。
 - ・サクラソウ群落再生地を中心に、一般参加者と外来植物の除草とタケの管理を実施します。
- 下池
 - ・移植したハンノキの育成状況を踏まえて、適宜実施します。
 - ・2019年度整備地に発生したハンノキ幼木について、順調な生育を促すため、幼木周辺の除草を実施します。

2022年度も一般参加者との維持管理作業を検討しているため、作業日が変更となる場合があります。

<2022年度の維持管理計画と対象箇所>

青字：2021年度との変更箇所

地区・管理対象		維持管理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
上池	旧流路整備地	①呑み口	ゴミ除去・周辺の除草：5月、9月の2回（出水期前と台風シーズン前）						7日（水）						協議会実施	
		②導水路	通路付近の除草：適宜													必要に応じて協議会実施
		③整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5・6月の開花時期に1回			18日（水）	15日（水）									協議会実施
	モトクロス場跡地整備地	④通路	管理用通路の除草：適宜													本田航空が適宜実施
		⑤-1 整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5・6月の開花時期に1回			18日（水）	15日（水）									必要に応じて実施します。協議会実施
	⑤-2 整備地	植生管理（オオブタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ）の除去等）：9月・11月 オギの除去・土壌攪乱（目標種再生）：必要に応じて12月に実施	モトA・モトD全般等												2021年度の12月にオギ除去作業を実施したため、2022年度の4月は実施しないこととします。 7日（水）アレチウリ 9日（水）ハリエンジュ 7日（水）オギ除去 目標種の再発生效果を検証し必要に応じて実施します。協議会実施	
中池	保全エリア	⑥保全エリア・通路	植生管理（オオブタクサ、シンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ・ツタ類）の伐採）：4月・5月・6月・9月・10月・11月 保全エリアの除草：適宜	13日（水）	18日（水）	15日（水）									7日（水） 20日（木） 9日（水）	協議会実施 +一般参加者
																現地状況に応じて実施する可能性があります。本田航空が適宜実施
	サクラソウ群落再生地	⑨再生地3D	植生管理（移植候補地の外来植物除草・ヨシ・タケの伐採等）：4月～10月に毎月 冬刈り：11～1月に毎月	13日（水）	18日（水）	15日（水）									7日（水） 20日（木） 9日（水） 7日（水） 11日（水）	協議会実施
下池	ハンノキ移植地	⑦実施計画範囲	移植したハンノキ周辺のつる性草本、アレチウリ・クズの除去、下池幼木箇所除草：6月、9月			15日（水）									7日（水）	協議会実施
	サクラソウ群落再生候補地	⑩-1再生候補地7A・7B	植生管理（移植候補地の外来植物、つる性草本等の除草）：－ 植生管理（移植候補地の冬刈り）：－													当面保留
		⑩-2再生候補地5A・5B	植生管理（移植候補地の冬刈り）：－													当面保留
全体	⑧看板	看板周辺の除草：イベント前に適宜対象箇所を実施	←----->												協議会実施	
	維持管理検討のための巡視	巡視ルートを巡視し、維持管理活動の内容を検討する													18日（水）	協議会実施

2. 2021年度の保全管理活動の概要と2022年度の活動計画（案）

1. 2021年度のスケジュール

●進捗状況について報告します。マーケットリサーチについては、5団体と協議を実施しました。

- つばさ北小学校 : 学校での荒川の草花の育成と現地での環境学習等の支援を年5回実施
- 桶川西高等学校 : 10月23日(土)に秋イベントで科学部による荒川の魚の生体展示、放送部による司会を実施
- 東京デザイン専門学校 : 学校でオリエンテーション・成果発表会・表彰式を実施、10月23日(土)秋イベントにて成果反映
- 埼玉県高校生物研究会 : 10月20日(水)に中池での調査研究活動を行う前に協議会の取組説明を実施
- 大和ハウス工業株式会社 : 11月11日(木)に中池での維持管理活動を実施
- 本田航空株式会社 : 上池の通路沿いの一部と中池②チガヤ群落を各年2回除草を実施
- アリオ上尾 : イベントチラシの設置及び普及啓発活動の実施

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マーケットリサーチ	22日(木): A高校	21日(金): 川島町 26日(水): O市理科・環境教育研究部		15(木): S財団					9日(木): エコプロ2021 17日(金)21日(火): S財団	12日(水): S大学 25日(火): S財団	1日(火): Aグループ(延期)	
協働・連携	つばさ北小学校	10日(月): 環境学習① 12日(水): 環境学習②	22日(火): 環境学習③			13日(月): 環境学習④				●: 環境学習④→⑤(サクラソウ移植等)	4日(金)環境学習⑤(サクラソウ移植等)	
	桶川西高等学校	29日(祝・木)かわじまはるかぜウォーク(中止)					23日(土)秋イベント: 科学部・放送部協力依頼	23日(祝・火)川島町農工商工祭(中止)				
	東京デザイン専門学校	26日(水): 事前打合せ	15日(火): オリエンテーション	6日(火): 成果発表			23日(土)秋イベント: 成果反映	13日(月)表彰式				
	NPO・民間企業等	20日(火): アリオ上尾		6日(日): 本田航空(除草)	13(火)・18日(日): 本田航空(除草)	4(日): (公財)サイサン環境保全基金助成申請	24日(金): アリオ上尾 25日(土): 本田航空(除草)	4日(月): 本田航空(除草) 8日(金): アリオ上尾(チラシ設置) 20日(水): 埼玉県高校生物研究会	11日(木): 大和ハウス			
適宜実施												

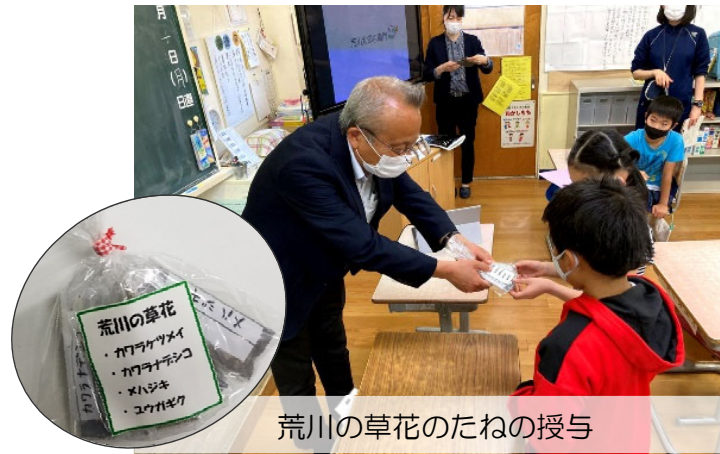
2. つばさ北小学校（1）

- 昨年度に引き続き、川島町立つばさ北小学校4年生が総合学習の時間を活用して、荒川の草花を育てようプロジェクトに関わっていただきました。今年度は、現地での活動を含め年5回実施しました。

- 5月10日（月）14:05～14:50

荒川の草花のたねの授与と植物の見学

：荒川太郎右衛門地区自然再生地の取組み及び荒川の草花を育てようプロジェクトの概要説明、荒川の草花のたねの授与、過年度に学校の花壇に移植した植物の観察を行いました。



荒川の草花のたねの授与



過年度に移植した植物の観察

- 5月12日（水）9:45～12:10

体験活動と荒川の草花のたね蒔き

：自然再生地で体験活動を行ったのち、学校に移動して荒川の草花のたね蒔きをしました。体験活動として、昆虫の観察と自然を守る活動（外来植物の除去）を行いました。



昆虫の観察



荒川の草花のたね蒔き作業

2. つばさ北小学校 (2)

●6月22日(火) 9:45~12:10

水生生物観察と自然を守る体験

: 自然再生地で水生生物観察と自然を守る体験(外来植物除去)の体験活動を行いました。



水生生物観察



外来種の引き抜き作業

●9月13日(月) 13:05~13:50

荒川の草花の株分け・移植

: 太郎右衛門自然再生に必要な荒川の草花のたねの確保に向けて、つばさ北小学校で荒川の草花の株分け・移植の体験活動を行いました。



掘り取り



移植活動

●2月4日(金) 11:00~11:40

サクラソウの移植活動と荒川の草花のお返し式

: 地元のつばさ北小学校、サクラソウトラスト地との連携協働による荒川流域のエコロジカル・ネットワークの核となる太郎右衛門自然再生地の湿地環境を保全・再生することを目的としたサクラソウの移植活動や、つばさ北小学校の児童による活動発表、たねのお返し式を行いました。



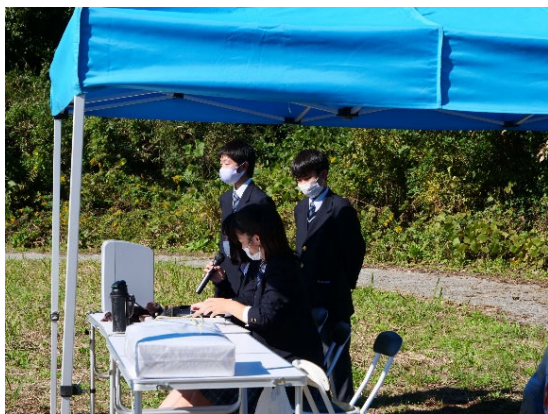
たねのお返し式



サクラソウの移植活動

3. 桶川西高等学校

- 10月23日（土）秋イベント当日に、桶川西高の放送部による司会進行と、科学部による出前水族館の展示・解説がありました。
- 年間スケジュールが確定する4月の段階で日程を確保していたため、他の予定と重なることなく参加いただくことができました。
- 桶川西高の放送部・科学部顧問の先生からは、「引き続き活動に協力できればと思うのでお声がけください。また、コロナ禍で外部での活動ができていなかった中、お声がけいただき大変ありがたかった」と連絡を受けています。



放送部による司会



開会式



科学部による荒川に生息する
外来生物・在来生物等の
水槽展示・解説



科学部によるナマズの展示

桶川西高等学校ホームページ

【科学部】 荒川クリーン大作戦のイベントに参加しました

投稿日時：2021/10/26 科 科学部 カテゴリ:

10月23日（土）荒川太郎右衛門地区自然再生地にて、参加者は外来植物の駆除や昆虫観察、草木染めなどを行いました。その一画に、ハートフル桶西水族館から運んだ水槽を展示しました。



科学部員は、見学に来てくださったお客様に在来・外来生物の説明をしたり、魚の飼育についての質問に答えたりしていました。



桶西高の放送部も司会進行役で活躍していました！



最後に参加者の皆さんと一緒に記念撮影

4. 東京デザイン専門学校

- テーマ : デザインによる問題解決 ~デザインのカで「荒川太郎右衛門自然再生地」の価値を高める~
- 課題 : 「2021年秋イベントの企画デザイン」
- 受講者 : 東京デザイン専門学校ビジュアルデザイン科3年生 Aクラス18名、Bクラス17名 計35名
- 当該講義 : 70分授業×2コマ×全11回 計1,540分 ※感染症対策のため現地視察は未実施
- 授業期間 : 6月15日(オリエンテーション)~7月6日(成果発表) 表彰式: 12月13日
- 評価方法 : ①アイデア、②デザイン、③企画、④実現性の4項目による5段階、20点満点評価としました。
- 評価結果 : 10作品の中から、計6作品を表彰対象(最優秀賞1作品[採用提案]、優秀賞4作品、特別賞1作品)としました。



2021年6月15日 オリエンテーション

2021年7月6日 成果発表

2021年12月13日 表彰式

4. 東京デザイン専門学校

優秀賞

いきものカードあわせ

ヒントを手がかりに荒川に住む生き物たちが描かれたカードを探しだせ!

2021
10 / 23 (土)
10:00-12:00
会場：荒川太郎右衛門再生地

*雨天予備日 10/24(日)

【参加費】 1人500円 【服装】 長袖、長ズボン

【持ち物】 飲み物、マスク 【注意】 荒川太郎右衛門自然再生地は、自然再生を目指しています。たくさんの生き物をご覧いただけますが、生き物を持ち帰ることはご遠慮いただいています。

【申し込み・お問い合わせ】
荒川太郎右衛門地区自然再生協議会運営事務局
https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index025.html
TEL：049-220-0145

荒川探検隊

荒川探検隊
~ 荒川に生息するモンスターたちを調査せよ! ~

2021 **10.23 (土)** ※雨天予備日 10.24(日)
時間 / 10:00-12:00 場所 / 荒川太郎右衛門自然再生地

参加費 **500円**

申込・問い合わせ先 / 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所内
〒350-1124 川越市南橋町 3-12
TEL：049-220-0145 / FAX：049-247-9850 / Eメール：ktr-tarou@mlit.go.jp
【主催】 荒川太郎右衛門自然再生協議会
【後援】 国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所

まぼろしのいきものをさがせ

荒川でまぼろしのミドリシジミを探せ!

「あらかわで」
まぼろしのいきものをさがせ!!

日程
10月23日 雨天予定日10月24日

イベント概要
荒川の大自然の中で幻の生き物を探そう!
見つけた生き物によって様々な景品がもらえるよ!
※実際に生きている生き物ではなく生き物が描かれたパネルを探すイベントです

持ち物
筆記用具、カメラ(又はスマートフォン)

参加費
一名につき500円

汚れてもいい格好で来てね!

4. 東京デザイン専門学校

優秀賞

秋のたろうえもん祭り

荒川太郎右衛門自然再生地には様々な生き物や植物が生息しています。今回のイベントでは、ゲームを楽しみながら生息している生物や植物を学ぶ事ができます。是非ご参加ください！

ゲームで遊んで自然を学ぼう！

景品もあるよ！

日時 2021年10月23日(土) ※雨天予備日は10月24日(日)

時間 10時-12時 場所 荒川太郎右衛門自然再生地

申込期限 ○月○日(○)まで ※先着50名 参加費 500円

ブース内容

- 自然博士の自然博士クイズ**
輪投げで遊びながら太郎右衛門の植物について勉強しよう！自然博士を目指せ！
- 虫つりゲーム**
君は太郎右衛門に生息する虫たちを見分ける事ができるかな？目指せ釣り名人！
- 自然博士の自然博士クイズ**
太郎右衛門に住んでいる虫博士になろう！玉入れゲームで君の腕前が試される！
- 虫つりゲーム**
この動物の名前がわかるかな？写真と名前を正しい組み合わせしよう！目指せ全問正解！

申込・お問合せ 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局 国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所内
〒350-1124 川崎市新宮町 3-12 TEL: 049-220-0145 / FAX: 049-247-9850 / E-mail: kt-taroumit.g.jp

特別賞

荒川自然大発見レース

荒川 Be with you 自然大発見レース

たろうえもんの助手になって荒川を探索しよう！！

荒川太郎右衛門自然再生地ではかつての豊かな生態系を築くため様々な活動が行われています。たろうえもんの助手として荒川を題材とした3つのミッションをクリアしゴールを目指すレースイベントです。

上位3人には嬉しい景品も！

荒川太郎右衛門地区自然再生事業イメージキャラクター たろうえもん

2021 10/23(土)

会場：荒川太郎右衛門自然再生地域
定員：50人
時間：10時～12時
雨天延長：10月24日
参加費：一人につき500円
持ち物・服装：長袖、長ズボン、飲み物
写真が撮れる物（携帯など）
イベント内容：ミッションをクリアしゴールを目指せ！
注意事項：生き物を持ち帰るのはご遠慮いただいております

問い合わせ先 〒350-1124 川崎市新宮町 3-12 国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所内 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局 TEL:049-220-0145 / FAX: 049-247-9850 / Email: kt-taroumit.g.jp 【主催】荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

最優秀賞

荒川クリーン大作戦

荒川クリーン大作戦

参上!

2021年10月23日(土) 10時～12時分
雨天顺延 10月24日(日)

対象：荒川太郎右衛門(中池)
対象：主に小学生親子を対象
人数：50名程度(実績)
参加費：1名につき500円

イベント内容：生き物の観察や、自然の観察、清掃活動、自然再生の体験など。

持ち物：長袖、長ズボン、飲み物

雨天延長：雨天時は10月24日(日)に開催します。

お問い合わせ先 〒350-1124 川崎市新宮町 3-12 国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所内 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局 TEL:049-220-0145 / FAX: 049-247-9850 / Email: kt-taroumit.g.jp 【主催】荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

4. 東京デザイン専門学校

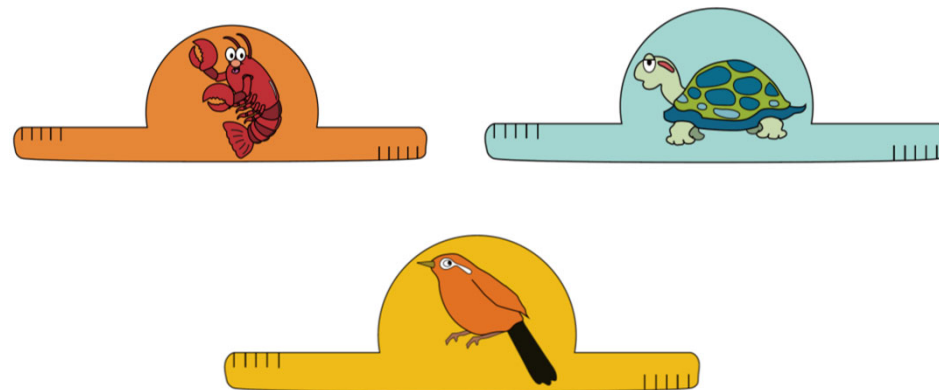
■採用イベントの東京デザイン専門学校学生制作物

キーホルダー（表面6種類+裏面共通1種類）



裏面

紙帽子



イベント企画説明に使用したパネル



イベント参加者に配布した小冊子



4. 東京デザイン専門学校

- 東京デザイン専門学校との連携協働によるイベント「荒川クリーン大作戦」を10月23日（土）に実施しました。このイベントでは、外来植物の駆除と駆除した植物を活用した草木染めの体験を行いました。参加者は11名でした。
- 桶川西高校科学部放送部による司会進行、同高校科学部による移動水族館の展示、TVチャンピオン昆虫王・長畑委員による昆虫観察や、本田航空株式会社には、駐車スペースのご提供をいただきました。



外来植物の除去の様子



除去した外来植物と
外来種キーホルダーの交換
お面をかぶった学生



除去した外来植物を活用した草木染め作業の様子



草花観察の様子



昆虫観察の様子



水槽展示の様子



桶川西高校放送部のご協力



桶川西高校科学部のご協力



東京デザイン専門学校のご協力

5. 埼玉県高等学校生物研究会

- 昨年度のマーケットリサーチで埼玉県高校生物研究会へ太郎右衛門自然再生地の活用等について連携協働を打診していました。その後、年2回ある調査会の場所として太郎右衛門自然再生地が選ばれ、中池エリアで調査会を開催することが決定しました。
- 将来的に太郎右衛門自然再生地の調査・研究を担える人材の確保を目的として、太郎右衛門自然再生地での調査会の受け入れと意向調査を伴うアンケートを下記の日程で実施しました。当日は、堂本委員長が開会に立会い、自然再生事業の取組について説明を行いました。
 - ▶日 時：10月20日（水）9：30～12：30
 - ▶場 所：荒川太郎右衛門自然再生地（中池エリア）
 - ▶参加者：約30名（埼玉県立高校の生物教員）
 - ▶対応者：堂本委員長
 - ▶対応内容：太郎右衛門自然再生地の活動紹介、協議会から提供できる物（調査データ等）の説明
- 当日は、開会時に協議会において太郎右衛門自然再生事業の説明を行いました。調査自体は、研究会で運営されたため、対応は行っていません。
- アンケート調査を実施しましたが、開会時のみの対応であったため、後日FAXで回答いただくことにしました。その結果、3名のみの回答に留まったことを受け、以下の改善策が考えられます。
 - ▶アンケート調査は、現場での記入をお願いする
 - ▶幅広い意見を収集するため、活動に同行して現場の感想を伺う。
- 今後は、担い手の確保の一環として、生物部や科学部の活動フィールドとして活用されるよう、興味を持ってもらえるよう提供可能な素材を提示しながらアプローチする必要があります。

参加者の意見	対応方針
植物調査の方法について知りたい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動植物の知識の機会となることを前面にだして維持管理等のお誘いを行う ・ 過去の調査データなどを教材として提供できることの発信を行う ・ 生物部や科学部などの活動フィールドとなるよう、教員のニーズをヒアリングし題材を提案する
授業などで使えるネタ探している	
動植物は専門でないため、現地調査を通じて学びを得たい	

【実施状況】



開会の様子



調査会の様子

※事務局と一部教員の数名程度が専門を持って野外調査をできる人材であったが、大多数は自己啓発を含めての参加であった。

6. 大和ハウス工業株式会社 埼玉支社

- 協議会による月1回の維持管理作業だけでは人手が不足しており、在来植物の発芽・生育に必要な日照条件の確保にむけたヨシや外来植物、ツル性植物の除去を実施できていない場所がありました。特に、中池の入口付近は、繁茂が著しく景観的にも圧迫感がありました。
- 今回、大和ハウス工業株式会社埼玉支社から、地域共生活動として維持管理への参加について打診があり、社員約150名を受入れました。
 - ▶日時：11月11日（木）14：30～16：00
 - ▶場所：荒川太郎右衛門自然再生地（入口付近及びサクラソウ群落予定地）
 - ▶内容：早春に日照条件が確保されることで芽が出る荒川の野草の生育を促すことを目的に、刈り取ったヨシの運び出し、ならびに、上部を覆った外来植物等の抜き取り・運び出し
- 参加者からは、「作業を進めることで薄暗かった場所が明るくなっていく様子にやりがいを得られた」、「地域での困り事の役に立ててよかった」といった、達成感や地域貢献ができたことへの喜びなどのコメントをいただきました。
- 以下、今回の取組みの検証は以下の通りです。
 - ・短時間であっても多人数が関わることで、維持管理は大きく進むことが改めて確認できました。
 - ・大和ハウス埼玉支社には継続の打診をしていくとともに、今回の取組みを大規模受入れのモデルとしてSNS等で情報発信を行い、新規獲得を目指します。あわせて、維持管理の課題を踏まえて、100名以上の関わりの申出があった際の維持管理の内容を用意しておくことが求められます。

【対応者】堂本委員長・小川委員、事務局（4名）
 【スケジュール】

時間	内容
14:30	■オリエンテーション ・開会挨拶 ・自然再生事業の説明 ・サクラソウ群落の取組説明
14:50	■環境保全活動 ・A班（サクラソウ群落予定地） 事前に刈ったヨシの運び出し ・B班（中池入口付近の草地） 外来植物等の除去と運び出し
15:40	■記念撮影
15:50	■旧流路の見学
16:00	■閉会 ・閉会挨拶 ・事務連絡

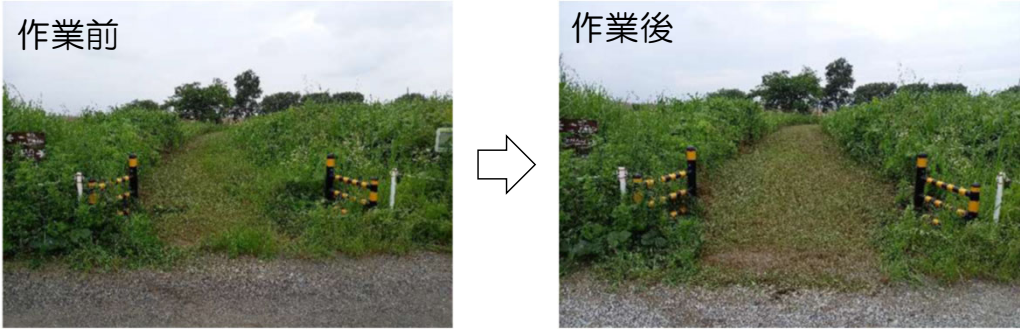
【実施状況】



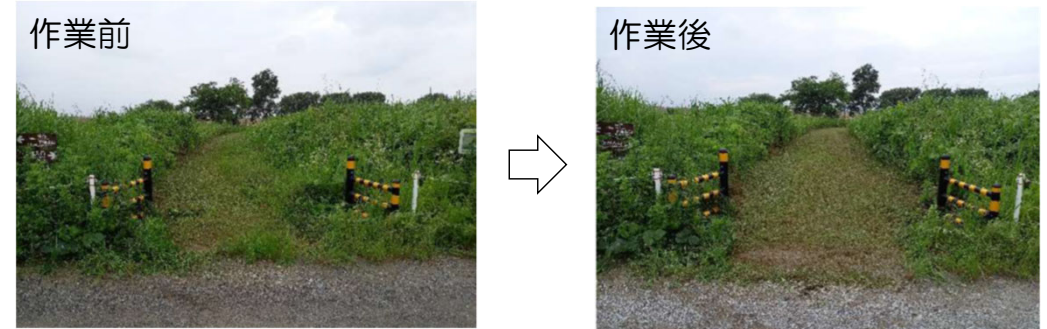
7. 本田航空（株）の維持管理作業（1）

●6月6日（日）に上池モトクロス場跡地Aにて本田航空（株）の協力による草刈りが実施されました。

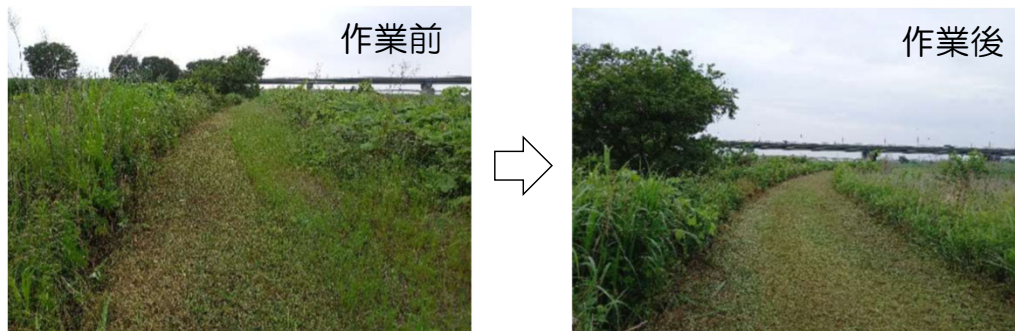
上流側入り口付近



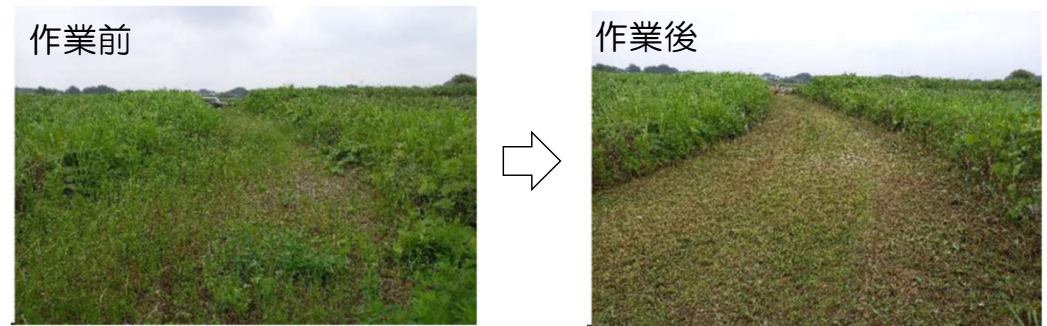
下流側入り口付近



通路内の様子①



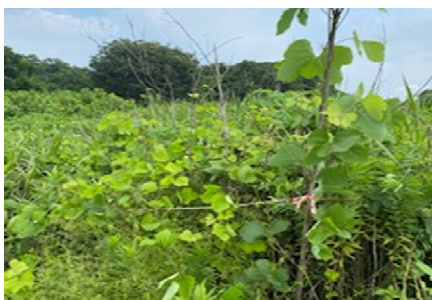
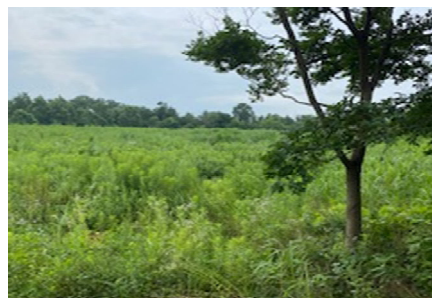
通路内の様子②



7. 本田航空（株）の維持管理作業（2）

●7月13日（火）と7月18日（日）に中池広場にて本田航空（株）の協力による草刈りが実施されました。

中池広場の作業前（7月13日(火)）



中池広場の作業後（7月18日(日)）



中池

作業範囲

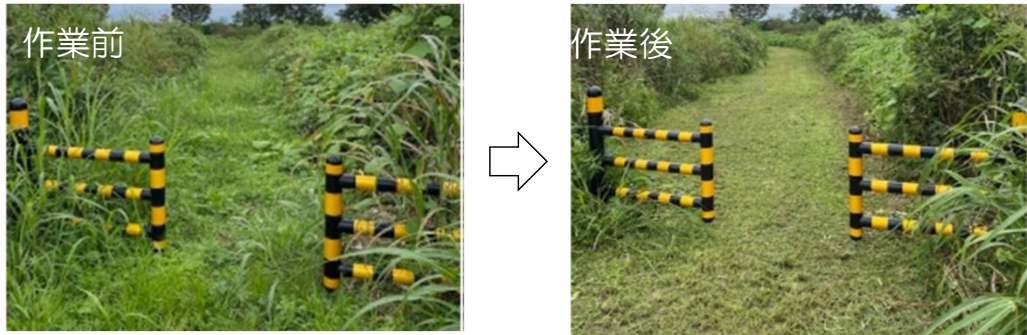


荒川の草花の植栽箇所
※植栽箇所がわかるよう、
事前に協議会にて
マーキングを実施しました。

7. 本田航空（株）の維持管理作業（3）

● 9月25日（土）に上池モトクロス場跡地Aにて本田航空（株）の協力による草刈りが実施されました。

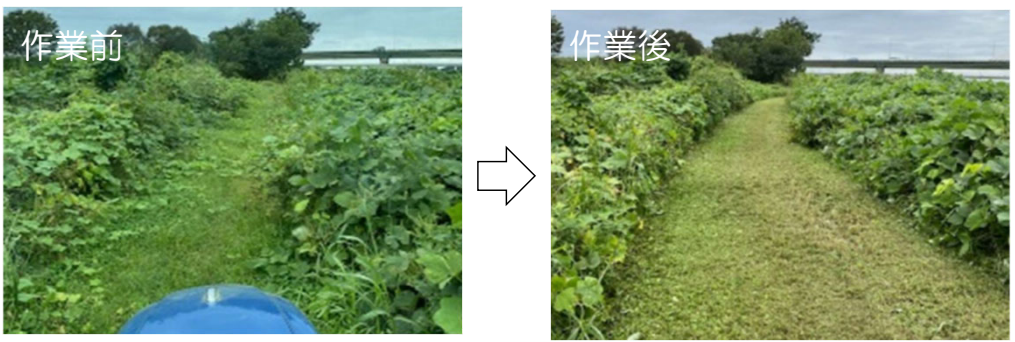
上流側入り口付近



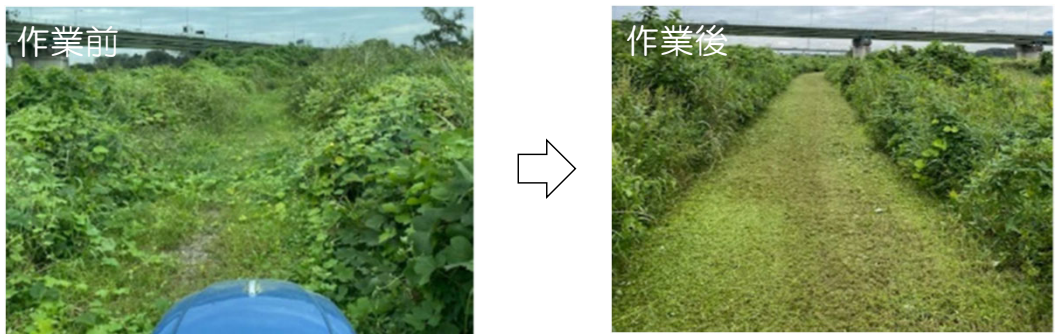
下流側入り口付近



通路内の様子①



通路内の様子②



7. 本田航空（株）の維持管理作業（4）

● 10月4日（月）に中池広場にて本田航空（株）の協力による草刈りが実施されました。

中池広場①

作業前



作業後



中池広場②

作業前



作業後



中池広場③

作業前



作業後



中池通路

作業前



作業後



中池



作業範囲


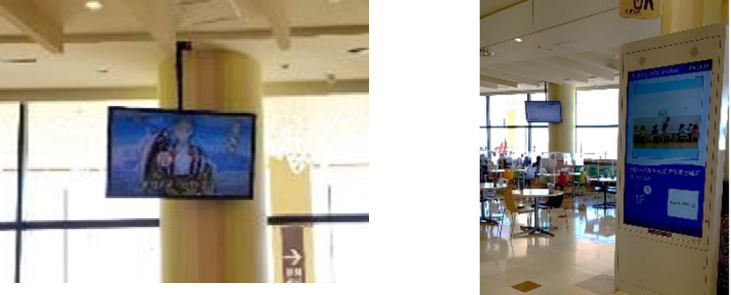
8. アリオ上尾での普及啓発活動（1）

【経緯】

- 2021年4月：前年度のマーケットリサーチでやりとりをしたタリーズコーヒーアリオ上尾店より、施設側のアリオ上尾が協議会の取組に関心があると情報提供をいただき、ヒアリングを実施。SDGsに関する取組や、広域連携の観点から連携協働に関する打診を受けました。
- 2021年9月：過年度までに東京デザイン専門学校との連携協働により企画した広報物等をもって、アリオ上尾との連携可能性について打診、ヒアリングを実施しました。
- 2022年1月：東京デザイン専門学校との連携協働による企画のうち、「たえもんの冒険（迷路）」と「広報用動画」をアリオ上尾のフードコート内にて実施することで了承を得ました。

【実施方針】

- 目的
 - ・持続的な維持管理活動を行うための担い手の確保に向けて、荒川太郎右衛門自然再生事業の認知度拡大を行います。
- 現状と課題
 - ・これまでに自然再生地での普及啓発活動を中心的に展開してきましたが、アンケート調査等の結果から荒川太郎右衛門自然再生事業の認知度がまだ低い現状にあります。
- 対応策（方策案）：
 - ・荒川太郎右衛門地区自然再生事業の認知度を高めるために、ファミリー層が多く集まるアリオ上尾で東京デザイン専門学校（TDA）との連携により制作した企画をもとに普及啓発活動を実施します。あわせて協議会の活動やTDAとの連携協働の実施状況がわかる広報物を設置します。

プログラム名	ねらい・概要	設置場所
①フードコートにおける広報物「たろえもんの冒険(迷路)」の設置	フードコートを利用する主に親子を対象に、協議会の取組への関心を高めることをねらい、TDA制作の迷路（A4版）と活動紹介を組合わせたパネルを設置する。	・迷路は、フードコート内の親子でくつろぐことが可能な小上がりスペースや、ベビーカーおきば周辺のテーブルの上など計20か所程度。パネルはその入り口付近に敷設。 
②プロモーション動画の放映	フードコートを利用する幅広い年齢層を対象に、協議会の取組への興味関心を高めるため、TDA制作のデジタルサイネージを活用した動画を放映する。	

8. アリオ上尾での普及啓発活動（2）

【掲示物】

広報パウチ（A4版両面）

はじめまして、
荒川太郎右衛門地区自然再生協議会です！

アリオ上尾から車で8分のところに、
自然豊かな場所があることをご存じですか？

さまざまな生物のいきいきとした様子が垣間みれる、
自然豊かな荒川太郎右衛門自然再生地へ、
お友達やご家族と訪れてみませんか？



荒川太郎右衛門自然再生地とは、

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
イメージキャラクター
「たるえもん」



外来種の駆除作業
を行っている
ボランティアの方々



荒川太郎右衛門自然再生地の名前の由来

「太郎右衛門」の名称は、江戸時代にこの地で渡し船をしていた、
「太郎右衛門」という人の名前からとったと言われています。
今もこの地域や橋の名前に受け継がれています。ここから自然
再生協議会の名前になり、キャラクターが生まれました。

荒川太郎右衛門自然再生地って、どんなところ？

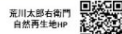
かつての河川改修で、荒川の本流が直線になったとき、
旧流路として残った3つの池を中心とした場所です。

3つの池：上池・中池・下池

荒川太郎右衛門自然再生地で、やっていることは？

市民ボランティアや学校、企業や団体などが協力して、
外来種の駆除作業や荒川の草花の移植活動等を行っています。

※ 只今、私たちの取り組みについて、オフロードにてパネルやプロモーション動画で紹介しています。
是非、お気軽にお立ち寄りご覧ください。



協議会の取組紹介 (A1)

For the next generation
次の世代に、引き継いでいくために。

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の紹介

荒川太郎右衛門自然再生地とは？

荒川中流において、良好な自然環境が保たれる
「太郎右衛門門」下流約4km区間に位置します。
かつての河川改修が広がっていたこの場所は、
在来種や、在来種の生息地により多様な自然環境が
保たれているという特徴があります。
荒川太郎右衛門自然再生地は、多様な生き物が
集まる、単なる自然再生地が、再生するを目的に、
市民ボランティアを呼びよせるさまざまな活動を行っています。



私たちは、こんな取り組みを行っています。

● 市民ボランティアを中心とした活動



定期的な維持管理作業
メダカやアヒルなどの生き物が
自然環境が保たれるよう、市民ボランティアが
定期的に行っています。

● 学校や企業・団体との連携・協働による活動



つばき花小園の子供たちによる
カタクリの移植
「自然の恵みを受けとる」をテーマに、自然の
のちからを感じ、自然の恵みを受けとる。カタクリ
などの自然の恵みを受けとる。

広域イベント開催



外来植物の駆除と草花の移植



地域の企業・団体による維持管理活動



【荒川太郎右衛門地区自然再生地】は、本市の自然環境を大切にする
「自然再生地」(平成14年創設)に基づき運営。詳細はこちらをご覧ください。



TDAとの連携取組紹介 (A1)

連携・協働事例紹介

東京デザイン専門学校 X
荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

東京デザイン専門学校とのコラボレーション

荒川太郎右衛門地区自然再生地を、より多くの人に知っていただくため、
このたび、東京デザイン専門学校との協働により協働いただきました。
学生のみならず、「デザインによる問題解決」をキーワードに、
荒川太郎右衛門地区自然再生地のプロモーション企画に携わっていただきました。

ビジュアルデザイン科3年生によるプロモーション企画の取り組み



3月中旬～2月の末まで、採用されたプロモーション企画を実際にご覧いただけます！

1 「たるえもんぼうけん」の迷路を、オフロードの各テーブルに設置中。

2 プロモーション動画を各店長カウンターにデジタルサイネージと、
オフロードにて放映中。

参加した学生たちの声



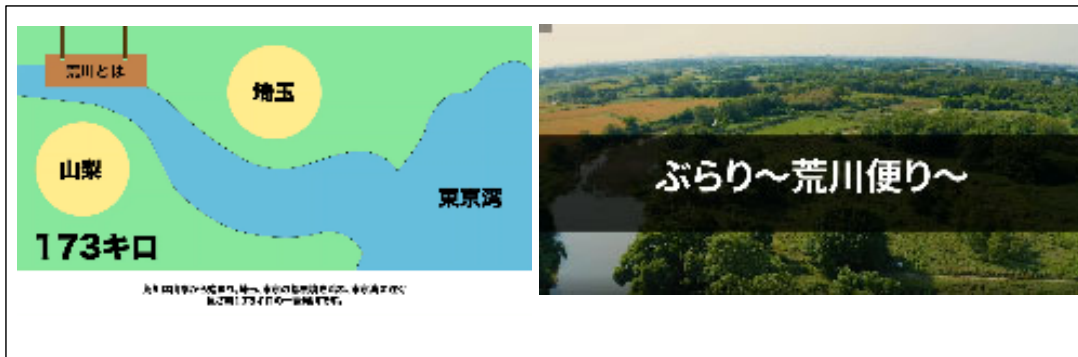
たくさんの方からプロモーション企画もありがとうございます！



プロモーション動画



※ この迷路は、東京デザイン専門学校ビジュアルデザイン科3年生（2020年度）のデザインです。



9. エコプロ2021 訪問について

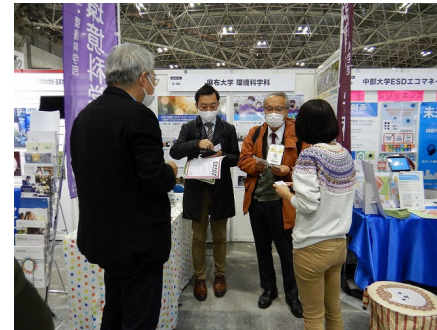
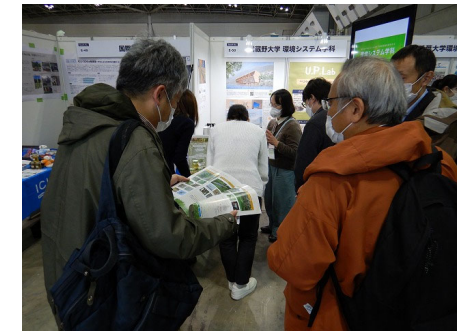
- エコプロ2021に12月9日（木）に堂本委員長と事務局4名で訪問しました。
- 1つの企業と3つの学校関係（大学）の方とパンフレットおよび協議会のチラシを配付して、協議会の活動や課題、相手方の活動内容などについて意見交換を行いました。
- 意見交換をした企業および学校関係の方に連絡し、協議会の活動に対する協力体制などについて、再度打合せの場を設けるべく、相手方と調整を図っているところです。

<エコプロ2021の開催概要>

- 【開催日】 2021年12月8日（水）～10日（金）
※オンライン展示会は2021年11月25日（木）～12月17日（金）
- 【主催】 （一社）サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社
- 【時間】 10:00～17:00
- 【会場】 東京ビックサイト 東2～3ホール
- ※入場料：無料（登録制）

出典：<https://eco-pro.com/2021/>

<訪問時の様子>



10. マーケットリサーチの協議状況（1）

●マーケットリサーチの協議状況について報告します。

日時	団体名	対応者	協議結果				
4月22日(木)	A高校	事務局	<ul style="list-style-type: none"> 兼部している生徒もいて、土日は部活の予定等が被ってしまうと参加できなくなるため、同好会としてイベントに協力することは現実的に難しい。 現状としては、上尾ロータリークラブから依頼される募金活動や国際交流などを主に行っている。 				
5月21日(金)	川島町 生涯学習 課	事務局	<ul style="list-style-type: none"> 9月頃の週末に町民（主に親子）を対象に、町主催で自然体験的な講座を実施したい。 実施にあたり協議会に協力をお願いしたく、講師謝金として5,000円をお渡しすることができる。 				
8月1日(日)		事務局	<ul style="list-style-type: none"> 広報かわじまにイベント情報（右）が掲載される。 ※後日、新型コロナウイルス感染防止のため中止。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; font-size: small;">君も立派な探検家！？ 太郎右衛門のネイチャーアドベンチャー</td> <td style="width: 20%; font-size: small;">町内在住の4歳～ 小学6年生 ※小学3年生以下 は保護者同伴</td> <td style="width: 20%; font-size: small;">9月18日(土) 【雨天中止】</td> <td style="width: 20%; font-size: small;">午前10時～正午</td> <td style="width: 40%; font-size: x-small;">荒川の自然を探検しよう！初めてみる草花、昆虫に、わくわく・どきどき！外来植物の抜き取りや、昆虫採集を体験。自然環境の大切さを実感できます。定員先着20人 8月4日(水)～8月31日(火) 無料 ①軍手、飲み物 ②本田航空株式会社北側堤防外広場 ③長袖長ズボン・マスク着用でお越しください。協力：荒川太郎右衛門地区自然再生協議会</td> </tr> </table>	君も立派な探検家！？ 太郎右衛門のネイチャーアドベンチャー	町内在住の4歳～ 小学6年生 ※小学3年生以下 は保護者同伴	9月18日(土) 【雨天中止】	午前10時～正午
君も立派な探検家！？ 太郎右衛門のネイチャーアドベンチャー	町内在住の4歳～ 小学6年生 ※小学3年生以下 は保護者同伴	9月18日(土) 【雨天中止】	午前10時～正午	荒川の自然を探検しよう！初めてみる草花、昆虫に、わくわく・どきどき！外来植物の抜き取りや、昆虫採集を体験。自然環境の大切さを実感できます。定員先着20人 8月4日(水)～8月31日(火) 無料 ①軍手、飲み物 ②本田航空株式会社北側堤防外広場 ③長袖長ズボン・マスク着用でお越しください。協力：荒川太郎右衛門地区自然再生協議会			
5月26日(水)	O市理科・ 環境教育 研究部会	事務局	<p>（O市教育委員会の紹介によりヒアリングを実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は、コロナ禍の中で、市内の学校が校外学習として現地を訪れるのは難しい。 研究部会では、年1回視察を実施している。協議会が希望するのであれば、視察先として自然再生地を候補として挙げることは可能であるが、コロナ禍で現地視察が実施できていないため状況が落ち着いたらあらためて相談させてほしい。 				
12月9日(木)	エコプロ 2021	委員長、 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 1つの企業と3つの学校関係（大学）の方とパンフレットおよび協議会のチラシを配付して、協議会の活動や課題、相手方の活動内容などについて意見交換を実施。 意見交換をした企業および学校関係の方に連絡し、協議会の活動に対する協力体制などについて、再度打合せの場を設けるべく、相手方と調整中。 				
1月12日(水)	S大学	委員長、 事務局	<p>（エコプロ2021で意見交換を実施した大学にヒアリングを実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地へのアクセスが悪いことがネックとなっており、通うことは難しいという印象である。イベント的にピンポイントにかかわることであれば可能かもしれない。 学内でできること（例：荒川の野草を育てる等）を中心に考えていければと思う。 まもなく春休みに入ってしまうので、年度明けにあらためて相談させてほしい。 				

10. マーケットリサーチの協議状況（2）

日時	団体名	対応者	協議結果
7月15日 (木)	S財団 (別紙1)	委員長、 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 協定締結後の河川環境の保全・再生活動について1回目は200名ほどの参加者が訪れることもあるが、2回目は数名であったこともあり差がある。目的は、あくまで自然の管理への参加だが、加盟店の方々に継続的に参加してもらうための工夫が必要である。 常設されたトイレを望まれる方も一部いるので調整している。
10月20日 (水)		事務局 (電話)	<ul style="list-style-type: none"> 9月の理事会で、7月に提示された計画については了承された。 最終判断は、年度内（2月末まで）に事務局長が判断する。インフラなどが判断材料になると思われる。協定締結後は、11月、2月の年2回に現地活動をするイメージでいる。 11月末までに、現時点の10年間の河川環境の保全・再生活動計画書を提示してもらいたい。→後日提出した資料について了承が得られた（別紙2） 12月上旬以降に、具体の協議ができればと思う。
12月17日 (金)		委員長、 事務局	<ul style="list-style-type: none"> S財団事務局との現地視察及び意見交換の実施。 協定を締結する場合には、活動場所の自治体にも加わってもらいたい。
12月21日 (火)		委員長、 事務局	<ul style="list-style-type: none"> S財団事務局長との現地視察及び意見交換の実施。 S財団側では、協議会との連携にむけた条件は整っていることを確認。協定期間は3年として、2年目に検証を行い継続審議する形にして、最長10年を考えている。 ここでの自然再生の背景や経緯が興味深い。連携協働する活動の中で、自然再生についての勉強会など参加者がこれらを理解する機会を設けてもらいたい。 保安全管理の活動について、1回目は150名ほどの参加者が訪れることもあるが、2回目以降は40～50名程度と考えてほしい。 年2回の保全活動は、春（3月下旬～4月中旬）と秋（11月～12月上旬）を想定している。 太郎右衛門を象徴する樹種をシンボルツリーとして植樹したい。また、シンボルとなるサクラソウを数株でも良いので植えることができればと思う。 協定が結ばれた際には、S財団の名称等を記載した看板を設置したい。
1月25日 (火)		委員長、 事務局	<ul style="list-style-type: none"> S財団と活動場所の自治体が協定書（案）について協議。 活動場所の自治体には、特に広報面での協力をお願いするとともに、協定内容に同意のうえ参画していただきたい旨を説明。 6月頃に協定を締結予定。

■S財団との連携による10年間の河川環境の保全・再生活動計画書（案）

現在協議中のため非表示

10. マーケットリサーチの協議状況 (3)

【添付1】 中池エリアのゾーニングと目標像



10. マーケットリサーチの協議状況（3）

【添付2】 中池エリアにおける維持管理内容（例）

荒川太郎右衛門自然再生地における活動内容

目的	サクラソウを始め、ノウルシ、チョウジソウなど早春にきれいな花を咲かせる湿性植物の群落を再生させ、荒川ならではの自然生態系と、現代における人と自然、人と人との再生を目指します
実施時期	4月、11月（予定）
活動内容	開花したサクラソウの観察と移植地周辺の保安全管理（移植地への侵入抑制を目的に発芽した外来植物や竹の伐採）



サクラソウ等の湿性植物群落（将来イメージ）



外来植物の駆除



集合写真



除草した植物の運び出し

10. マーケットリサーチの協議状況（3）

【添付3】東京デザイン専門学校企画による自然体験プログラム（例）

荒川太郎右衛門自然再生地における自然とのふれあい

- 自然再生地の維持管理作業とあわせて、荒川の自然に親しみを感じていただけるようなプログラムを実施します。
- プログラムは、東京デザイン専門学校との連携協働によって開発されたものを随時追加して実施していきます。

クイズ&スタンプラリー	ネイチャースナップカメラマン
<p>■ねらい：太郎右衛門自然再生地についてクイズ形式で紹介することで、楽しみながら取り戻したい荒川の自然について理解を促します。</p> <p>■時 期：通年</p> <p>■内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数地点にクイズパネルとスタンプ台を設置して、クイズに答えながらスタンプを集めます。 ・自然再生地の動植物のお話やボランティア活動に参加してもらうポイントもあります。 	<p>■ねらい：カメラマンになりきり、自分だけの荒川の自然の図鑑をつくることを通して、生き物が見つかる視点と技能を習得を促します。この一連の活動を通じて、荒川に様々な生き物があることの実感を促します。</p> <p>■時 期：春～秋</p> <p>■内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラを持って、あらかじめ設定したエリア内を探索します。 ・スクラップブックに載っている生き物や植物の「スナップショット」を撮影し、自分だけのスクラップブックを作ります。 
荒川クリーン大作戦（草木染め）	まぼろしのいきものをさがせ！
<p>■ねらい：除去した外来植物を有効活用し草木染めを行うことで、荒川の自然を取り戻す維持管理を楽しく取り組めるようにします。</p> <p>■時 期：春～秋</p> <p>■内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理で除去した外来植物を鍋で煮だして染色液を作り、その中にハンカチやストール、バック等を入れて染色します。 ・布を輪ゴム等で縛る「絞り染め」にすれば、オリジナルの模様 completes します！ <p>開いた時の楽しみも増えます。</p> 	<p>■ねらい：ゲーム形式で荒川に生息する象徴的な生き物を知ることによって荒川の自然の楽しさを感じてもらい、取り戻したい荒川の自然について理解を促します。</p> <p>■時 期：春～秋</p> <p>■内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然再生地内に隠された生き物たちのパネルを探してスマホで撮影します。 ・生き物ごとに点数が異なります。制限時間内に一番点数の高かった人が優勝です。 

■S財団の助成について

- S財団との連携・協働により、継続的かつ長期的な保全管理活動への人材及び資金的な支援を受けられることが期待されます。また、活動事例より、多様な主体や世代の参加が見られることから、新たな人材確保や利活用の場の提供につながる可能性が高いです。
- 埼玉県で初の試みとなる助成対象地であり、全国の自然再生協議会でも例がないことから注目度も高いです。

【S財団とは】

現在協議中のため非表示

【助成対象地とは】

現在協議中のため非表示

【活動事例】

現在協議中のため非表示

S財団関係者や地域住民、NPO、行政が連携し、毎回100名以上が参加・協力



河岸の外来種駆除作業



漂着ゴミの清掃活動



親子参加による苗木の植栽

現在協議中のため非表示

取組内容を紹介する看板の設置

11. 2022年度の保全管理活動計画(案)

●2022年度の保全管理活動計画について提案します。

2021年度に引き続き、これまで協働・連携実績のある対象者については継続・発展を、検討中の対象者については協働・連携の具体化を、そして新たな対象者の検討を実施します。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
マーケット リサーチ		適宜実施										7~9日 : エコプロ 2022		
協働・ 連携	つばさ北 小学校		上旬：環境学習① ：環境学習②	中旬：環境学習③			中旬 ：環境学習④						上旬 ：環境学習 ⑤	
	学校関係 桶川西高 校	29日(祝・金) かわしまはるかせ ウォーク	8日(日)おげがわ春 のふれあいフェスタ					1日(土) (予備日2日(日)) 秋イベント：科学部・放 送部協力依頼	上旬 ：上尾市パネル展 23日(祝・水) ：川島町農業商工祭					
	専デ 門ザ東 学イ京 校ン						ビジュアルデザイン科3年生の第二期(9月~11月) の期間中に、連携講義としてパンフレット制作を行う 予定。講義スケジュール・内容は今後学校と調整。							
	NPO・ 民間企業 等					中旬：(公財)サイサン 環境保全基金助成申請 ×切								
		適宜実施												